

公益財団法人 日本バレーボール協会
第11期・2020年度事業計画
(2020年4月1日～2021年3月31日)

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会（東京2020大会）がいよいよ2020年7月24日に開幕する。大会に向けて、JVAのガバナンス及びコンプライアンスを更に強化し、スポーツ・インテグリティの向上に努め、バレーボール、ビーチバレーボールの魅力をいかに発揮することに最大限注力する。

また、東京2020大会以降も安定的な事業運営を継続しバレーボールを愛するすべての国民の心身の健全な発達、維持および人間性の向上に寄与し豊かな社会の形成に貢献することを目指す。

1. 基本方針

2018年10月にキックオフをした、中期経営計画について2018年度、2019年度の業績を反映し、2020年度以降の新たな国際大会計画等を盛り込んだ中期経営計画（修正版）を着実に実行していく。

選手強化事業

- 東京2020大会において、強化策を実行し最大限のパフォーマンスを発揮する
- 2024パリ大会を見据えた強化の推進
 - ・2021年度以降の強化体制の構築
 - ・ユース・ジュニアの育成
 - ・ビーチバレーボールの強化体制の見直し
 - ・バレーボール人口の減少に歯止めをかけ、幼少期から中学世代までの普及・強化体制の構築

スポーツ団体ガバナンスコードの推進

- 協会運営の透明性の推進
- ガバナンス、コンプライアンスの強化
- 組織の厳格な運営

財務改革の推進

中期経営計画の最重要課題の1つでもある財務改革について、2020年度においても収入・費用の両面からの改革を断行する。

- 費用の効率化：大会経費の削減、東京2020大会以降の強化費用の精査
- 収入増大：大会収入の増加、新規スポンサーの獲得、グッズ販売

体罰・暴力・ハラスメント根絶に向けた取り組みの強化

体罰・暴力・ハラスメント撲滅対策委員会と指導普及委員会との連携を強化し、根絶に向けた活動を強化する。

加盟団体との連携強化

加盟団体との更なる連携強化、経営課題の抽出・整理、法人化を推進する。

事業運営の改革

- バレーボールのビジネス化を目指し、そのための指針を策定する。
2020年度以降の新たな国際大会開催計画の策定及び調整
- スポンサー広報（マーケティング・コミュニケーション）、メディア露出の強化
- 総合力を最大限発揮できる組織の構築（従来からの仕事のやり方の見直し、業務の効率化等）

★名称詳細★

- FIVB：国際バレーボール連盟（Fédération Internationale de Volleyball）
- AVC：アジアバレーボール連盟（Asian Volleyball Confederation）
- VNL：バレーボールネーションズリーグ（Volleyball Nations League）
- NTC：味の素ナショナルトレーニングセンター
- Vリーグ機構：一般社団法人日本バレーボールリーグ機構
- NF：各国のバレーボール協会（National Federation）
- BVT：ビーチバレーボールツアー

2. 事業内容

（1）競技力向上事業及び競技力向上に係る日本代表選手団国際大会派遣事業

①各カテゴリー日本代表チームの選手育成・強化事業

全国の社会人、大学生、高校生の中から選抜された有力選手による日本代表チームを編成し、国際競技力向上を図るため以下の諸事業を行う。

1) 男子・女子日本代表チーム強化目標

7月開催の東京2020大会での目標（男子：ベスト4・女子：メダル獲得）達成のため、男子、女子チームとも4シーズン目の中垣内・中田両監督体制でのチームを更に強化する。2018年度に新設されたバレーボールネーションズリーグにおいて、男女ともに世界ランクの上位チームに勝利し、東京2020大会への足掛かりとする。

なお、4月末にはアジア圏内の男女各3チームを招聘し、「2020バレーボール有明アリーナテストマッチ ～TOKYO CHALLENGE CUP～」を開催する。東京2020大会本番と同様の設営での開催とし地元の利をいかにす。

■男子：国内合宿・NTCを中心に実施

海外合宿・VNL大会前に強化合宿を予定

■女子：国内合宿・NTCを中心に実施

海外合宿・世界ランキング1位の中国と合同強化合宿を計画

注）日本代表チームとはトップレベル選手で構成された日本代表チーム

2) 男子・女子ユニバーシアード日本代表チーム強化合宿

男子は8月にミャンマーで開催されるAVCカップ優勝を目指す。

女子は6月に中国で開催されるアジア東部地区選手権大会で優勝を目指す。

2021年ユニバーシアード中国成都大会（2年に1回開催）でのメダル獲得を目標に、選手強化合宿を行う。

■男子：国内合宿・NTC及び他で実施

■女子：国内合宿・NTC及び他で実施

注）ユニバーシアードチームとは、主に大学生を中心に構成される日本代表チーム

3) 男子 U-20・女子 U-19 日本代表チーム強化合宿

男子は6月にイランで開催される U-20 アジア選手権で世界選手権出場権獲得（2チーム）を目指しチーム強化合宿を行う。

女子は6月に中国で開催される U-19 アジア選手権で世界選手権出場権獲得（2チーム）を目指しチーム強化合宿を行う。また、9月に台北で開催される AVC カップでの優勝を目指し第33回オリンピック競技大会(2024/パリ)に向けての強化をおこなう。

■男子：国内合宿・NTC 及び他で実施

■女子：国内合宿・NTC 及び他で実施

注) 男子 U-20・女子 U-19 チームとは、男子が 2001 年 1 月 1 日以降に、女子が 2002 年 1 月 1 日以降に出生した選手で構成される日本代表チーム

4) 男子 U-18・女子 U-17 日本代表チーム強化合宿

男子は7月にバーレーンで開催される U-18 アジア選手権で優勝、世界選手権出場権獲得を目指しチーム強化合宿を行う。

女子は9月にタイで開催される U-17 アジア選手権で世界選手権出場権獲得を目指しチーム強化合宿を行う。

■男子：国内合宿・NTC 及び他で実施

■女子：国内合宿・NTC 及び他で実施

注) 男子 U-18・女子 U-17 日本代表チームとは、男子が 2003 年 1 月 1 日以降に、女子が 2004 年 1 月 1 日以降に出生した選手で構成される日本代表チーム

②競技活動を行う選手の競技・練習環境の整備、セカンドキャリアに関する啓発、情報発信

③将来性を有する選手の発掘及び育成強化事業

1) 全国小学生・中学生・高校生長身選手の発掘育成事業

将来有望な長身選手の発掘、育成、強化を目的に、公募および推薦によるオーディションを行い、選抜した有望選手の育成強化合宿を実施する。そして、有望選手のリストを小学生・中学生よりデータ化し、選手情報を経年的に強化委員会等で共有化する。

また、年1回各カテゴリー（中学生・高校生）別の有望選手達による選抜チームを編成し、海外遠征で外国人選手との国際試合を行い、国際的に通用する選手の育成を行う。

加えて、将来のオリンピックを見据えたターゲット選手を選定し、それらの選手の一貫指導（プロジェクトコア）を実施していく。

④競技力向上にかかわるバレーボール技術の調査研究及びスポーツ医・科学の調査研究事業

1) 日本代表選手の体力測定評価、測定結果に基づくトレーニング処方立案と提言

2) 日本チームとの対戦が想定される外国チームの戦力掌握

3) トレーナーの育成、教育を行い、日本代表チームに派遣

4) 日本代表及び年代別日本代表チームにドクターを派遣し、歯科・整形外科診断を中心に選手
の健康維持、怪我防止及び傷害発生時の対処、薬剤を手配

5) アンチ・ドーピングの啓発を含むスポーツ・インテグリティの向上をはかる

⑤各カテゴリー日日本代表選手団の国際大会派遣事業

選手、チーム強化合宿の効果を検証するとともに、実戦（試合）を経て得られる技術、戦術他総合的な競技力向上を目的として以下の各大会に日本代表選手団を派遣する。

■男子：

シニア日本代表

- ・2020 バレーボール有明アリーナテストマッチ～TOKYO CHALLENGE CUP～
4/21～4/25 東京・有明アリーナ
- ・FIVB バレーボールネーションズリーグ 2020
5/22～7/5 中国／ブラジル／京都／富山／ブルガリア／イタリア（ファイナル）
- ・第32回オリンピック競技大会(2020/東京)
7/24～8/9 東京・有明アリーナ

年代別日本代表

- ・U-20 アジア選手権
6/21～6/28 イラン
- ・U-18 アジア選手権
7/7～7/15 バーレーン
- ・AVC カップ：学生選抜チーム
8/22～8/30 ミャンマー

■女子：

シニア日本代表

- ・2020 バレーボール有明アリーナテストマッチ～TOKYO CHALLENGE CUP～
4/22～4/26 東京・有明アリーナ
- ・FIVB バレーボールネーションズリーグ 2020
5/19～7/5 中国／ブラジル／カナダ／アメリカ／富山／中国（ファイナル）
- ・第32回オリンピック競技大会(2020/東京)
7/24～8/9 東京・有明アリーナ

年代別日本代表

- ・U-19 アジア選手権
6/20～6/28 中国
- ・アジア東部地区選手権
7/14～7/19 中国
- ・U-17 アジア選手権
9/5～9/13 タイ
- ・AVC カップ：ジュニア選手を中心にパリオリンピック候補選手を派遣
9/19～9/27 チャイニーズタイペイ

(2) 国際大会開催事業及び国際貢献・交流事業

①国際大会開催事業

1) 2020 バレーボール有明アリーナテストマッチ～TOKYO CHALLENGE CUP～

- 開催期間：4月21日（火）～26日（日）
- 開催都市：東京都江東区（有明アリーナ）
- 参加国：【男子】日本、オーストラリア、中国、韓国
【女子】日本、中国、チャイニーズタイペイ、タイ
（選手団160人、競技役員20人、計180人が参加予定）
- 試合数：延べ12試合《1日2試合×6日》

2) FIVB バレーボールネーションズリーグ 2020

FIVB バレーボールネーションズリーグは、参加権を与えられたコア12チームにチャレンジ4チームが加わり、2018年からスタートした世界転戦型のリーグ戦方式の大会。2018年に第1回大会が行われ、2024年までは、男女日本代表チームはコア12チームのひとつとして参加資格を与えられている。

■FIVB バレーボールネーションズリーグ 2020 男子京都大会

- 開催期間：6月5日（金）～7日（日）
- 開催都市：京都府京都市（島津アリーナ京都）
- 参加国：日本、アルゼンチン、オーストラリア、イタリア
（選手団80人、競技役員10人、計90人が参加予定）
- 試合数：延べ6試合《1日2試合×3日》

■FIVB バレーボールネーションズリーグ 2020 男子富山大会

- 開催期間：6月12日（金）～14日（日）
- 開催都市：富山県富山市（富山市総合体育館）
- 参加国：日本、カナダ、ドイツ、ポーランド
（選手団80人、競技役員10人、計90人が参加予定）
- 試合数：延べ6試合《1日2試合×3日》

■FIVB バレーボールネーションズリーグ 2020 女子富山大会

- 開催期間：6月16日（火）～18日（木）
- 開催都市：富山県富山市（富山市総合体育館）
- 参加国：日本、ドミニカ共和国、ドイツ、セルビア
（選手団80人、競技役員10人、計90人が参加予定）
- 試合数：延べ6試合《1日2試合×3日》

②国際貢献・交流事業

1) FIVB 及び AVC 役員等派遣事業

FIVB および AVC の理事職および競技運営、審判規則、指導普及、医事ほか各種委員会の委員として JVA の代表を派遣し、世界のバレーボール界の発展に寄与するとともに国際的な貢献を行う。

本年は、FIVB および AVC 理事会ほか、各種会議に当該メンバーを派遣するとともに、国際レベルの指導者講習会への講師の派遣と FIVB および AVC が主催する大会への競技役員ならびに審判員を派遣する。

2) バレーボールバンク事業

自国におけるバレーボール普及発展のため用器具等の補助が必要な国に対し、競技会やトップバレーボールチームが使用したボール、その他バレーボール用器具を寄贈して競技の普及を図り、同時に様々なバレーボール情報を提供し、国際社会におけるスポーツ振興に寄与する。

併せて同事業の戦略的展開を通じ、寄贈対象となった各国のバレーボール協会（NF）との友好を結び、連携強化を図る。

3) 国際移籍（International Transfer Certificate）

FIVB が定める手続きに従い、国内リーグでプレーする外国籍選手および海外リーグでプレーする日本人選手の承認を NF として行う。国内リーグ所属チームのサポートも含む。日本人選手については、US1,000 ドルの移籍金を徴収する。

(3) 講習会開催事業、指導者、審判員等養成及び資格認定・登録事業

①競技者拡大

近年の競技人口の減少は憂慮すべき事態であり、特に小学生、中学生が著しく減少している。競技人口を増やすことは喫緊の課題であるため、競技者拡大に向けた事業の検証・整理を行い、現行の事業のリニューアルも含めた計画（中期・長期含む）を設定する。また、競技者の更なる拡大・競技の継続に向け、新規事業を立ち上げ競技者拡大を図ることを念頭に、今年度は以下の事業を実施する。

1) V リーグ選手と一緒にバレーボール教室

小学生のバレーボール未経験者及び初心者を対象に、V リーグ選手が参加してバレーボール教室を全国 5 会場で開催予定。

2) 中学校ビギナー選手バレーボール大会推進事業

中学 1 年生からバレーボールを始めた選手への競技継続のモチベーションの植え付けと共に、競技の魅力及び競技力の向上を目的とするためのバレーボール教室及び大会を開催する。

3) 全国小中一貫バレーボール教室事業

小・中学生合同のバレーボール教室を実施する。一貫指導の充実とバレーボール人口の増加を図ることを目的として、全国 3 会場（予定）で開催する。（開催地については調整中）

4) 幼稚園・保育園等でのソフトバレーボール（風船等）実践事業

ソフトバレーボールを通して、幼児期にバレーボールの楽しさを伝えるとともに、ボールを使ったコーディネーショントレーニングを実践し、幼少期の運動能力・発育を促す事業展開する。

5) アンダー10 大会促進事業

小学 4 年生以下を対象としたチーム内でレギュラー以外の選手の競技継続を目的とした大会を開催し、ボール接触機会と競技の楽しさを味わってもらうとともに、次カテゴリーでのバレーボール継続を促進する。

②指導者養成事業

各種別の指導者を対象に以下の主な養成講習会等を開催する。

1) 都道府県別バレーボール指導者研修会

各都道府県の指導者の資質向上を目的に、各地で開催する。(開催地については調整中)

2) 公益財団日本スポーツ協会からの受託事業として、日本スポーツ協会公認コーチ 4・コーチ 3・コーチ 2・コーチ 1、バレーボール専門教科認定講習会等、資格取得に向けたバレーボール専門科目の講習会を各地で開催する。

3) JVA 公認講師認定講習会・公認講師研修会・公認指導者研修会

JVA が開催する講習会の講師を務める指導者を対象として、認定講習会及びスキル向上のための研修会を開催する(毎年東京・大阪で交互に開催)。

4) 全国小学生バレーボール指導者研修会

小学生の指導者を対象として第一次・第二次講習会を各地で開催する。(開催地については調整中)

5) 全国中学生バレーボール指導者研修会

中学生の指導者を対象として全国中学生指導者研修会を各地で実施する。(開催地については調整中)

③審判員等養成・育成事業

国際大会における審判員の派遣および国内競技会の円滑な試合運営のために、6 人制・9 人制・ビーチバレーボール審判員の技術向上と育成・養成を目的に、主な講習会・研修会を下記により開催する。

【6人制】	開催期間	開催地・会場等
全国ラインジャッジ・クリニック	4/30～5/2	丸善インテックアリーナ大阪
国際審判員 (S1 レフェリー) 技術強化事業	4/30～5/3	丸善インテックアリーナ大阪
6人制 S1 レフェリー認定会	5月～6月	サマーリーグ開催時
6人制 S3 レフェリー技術強化事業	5月～8月	全国各ブロックで開催
A級審判員講習会 (AC キャンプ)	8/12～15	大阪 (3泊4日)
B級審判員講習会 (B レフェリーキャンプ)	8/15～17	大阪 (2泊3日)
A級審判員技術強化事業	11/30～12/6	東京都他
全国6人制審判講習会	2021年3月中旬	東京 (慶応義塾中等部)

【9人制】		
N1 レフェリー認定会	5月上旬	大阪（予定）
N2 レフェリー技術強化事業	5月～8月	全国各ブロックで開催
A級審判員研修会	10/29～31	大阪（住友電工）
審判員育成事業	10/29～11/1 11/14～16	愛知（一宮市） 徳島（徳島市）
全国9人制審判講習会	2021年3月下旬	大阪（予定）
【ビーチバレーボール】		
B1 レフェリー認定会	4月	未定
B2 レフェリー技術強化事業	5月～8月	全国各ブロックで開催
A級審判員研修会	未定	未定
特別A審判員講習会（ACキャンプ）	7/16～17	兵庫（明石市）
全国ビーチバレーボール審判講習会	2021年3月下旬	神奈川（予定）
■女性審判員育成事業	未定	未定
■新規【障害者対象審判員資格取得講習会】	未定	未定

1) 指導者資格認定事業

バレーボールを正しく、安全に、楽しく指導することを目標に、バレーボールの特性を活かしながら本質的な素晴らしさを伝える指導者資格として以下の認定登録を行う。

- 小学生バレーボール指導者資格 ○ソフトバレーボール リーダー／マスターリーダー
○公認講師

2) 審判員資格認定事業

競技会における公平・公正な判定と円滑な試合運営を行う、審判員の資格認定と登録を行う。

また、新規事業として、障害者対象の審判員資格審査会の実施を検討する

- A級審判員 ○A級候補審判員 ○B級審判員 ○C級審判員
○ビーチバレーボール審判員 ○障害者対象審判員

(4) 全国大会等国内競技会開催事業

①天皇杯・皇后杯全日本バレーボール選手権大会

JVAに登録する全てのチーム（小学生を除く）が参加可能な、天皇杯・皇后杯の名を冠するに相応しい、国内最高峰に位置づけられている大会である。本年は以下の日程で開催する。

■都道府県ラウンド：

- 開催期間：4～7月
- 開催都市：各都道府県内体育館

■ブロックラウンド：

- 開催期間：9～10月
- 開催都市：各地域ブロック内体育館

■ファイナルラウンド：（48チーム参加）

- 開催期間：12月11～13日（1回戦～準々決勝）
12月19～20日（準決勝・決勝）
- 開催都市：12/11-13 東京都調布市 武蔵野の森スポーツプラザ
12/19-20 東京都大田区 大田区総合体育館

②全日本小学生大会（男女・混合大会）

教育的配慮のもとにバレーボールを通じて全国児童の親睦と交流を図ること、バレーボールによる小学生の体力向上とたくましさの醸成に努めること、小学生から正しいバレーボールの基本技術とチームプレーを体得し、楽しいゲームが出来るように指導することを目的に、以下の日程で実施する。

■都道府県大会

- 開催期間：4～7月
- 開催都市：各都道府県内体育館

■全国大会

- 開催期間：8月4～7日（男子）8月9～12日（女子・混合）
- 開催都市：8/4～7 男子：岩手県奥州市、北上市
8/9～12 女子：福島市 8/9～12 混合：宮城県利府町

③JOC カップ全国都道府県対抗中学大会

将来のオリンピック選手の発掘と中学生バレーボールのレベルアップを図り、各チームとの交流を通して友情を深め、フェアプレー精神の高揚を目指し、中学生指導者の研修の場とすることを目的に、以下の日程で開催する。

- 開催期間：12月25～28日（1回戦～決勝）
- 開催都市：大阪府 大阪市、守口市、岸和田市

④全日本高等学校選手権大会

都道府県予選を勝ち抜いた高校日本一を決める大会として以下の日程で実施する。

- 開催期間：2021年1月5～10（1回戦～決勝）
- 開催都市：東京都（東京体育館）

⑤秩父宮賜杯・秩父宮妃賜杯全日本大学選手権大会

大学在校生で構成され全日本学連に有効に登録された大学で、地区学連より選抜されたチームが参加できる大会として、以下の日程で大学日本一を決める大会を実施する。

■秩父宮賜杯全日本大学選手権大会（男子）

- 開催期間：11月30日～12月6日
- 開催都市：東京都（大田区総合体育館他）

■秩父宮妃賜杯全日本大学選手権大会（女子）

- 開催期間：11月30日～12月6日
- 開催都市：東京都（大田区総合体育館他）

⑥上記の各競技会に加え、JVA 主催、開催地都道府県協会等の主管により、以下の各種別全国大会を開催する。

大会名等	開催期間	開催都市
第6回全日本9人制トップリーグ女子レギュラーR	6/6～7/5	大垣市、広島市、鹿児島市
第6回全日本9人制トップリーグ女子ファイナルR	11/21～23	津市
第6回全日本9人制バレーボールトップリーグ男子	11/28～29,	江東区
〃	12/19～20	熊本市
第72回全日本9人制実業団女子選手権大会	7/17～20	松江市
第73回全日本9人制実業団男子選手権大会		
第40回全日本9人制クラブカップ女子選手権大会	8/10～13	神戸市
第40回全日本9人制クラブカップ男子選手権大会	8/21～24	新潟市
第19回全国社会人東ブロック男女優勝大会	10/29～11/1	一宮市
第19回全国社会人西ブロック男女優勝大会	11/13～16	徳島市
第89回全日本9人制総合女子選手権大会	10/29～11/1	大阪市
第90回全日本9人制総合男子選手権大会		
第11回全国6人制バレーボールリーグ総合男女優勝大会（地域リーグ）	4月～12月	全国各地
第11回全国6人制バレーボールリーグ総合男女優勝大会（東西決勝リーグ）	2021年1月～3月	未定
第11回全国6人制バレーボールリーグ総合男女優勝大会（グランドチャンピオンマッチ）	2021年3月	未定
第69回黒鷲旗全日本男女選抜優勝大会	5/1～5/6	大阪市
第40回全日本6人制クラブカップ女子選手権大会	8/12～14	大阪市
第40回全日本6人制クラブカップ男子選手権大会	8/18～21	天童市・山形市
第23回全国ヤングクラブ優勝大会	9/26～27	大阪市
第28回全国ソフトバレーシルバーフェスティバル	10/9～11	三沢市
第22回全国ソフトバレーレディースフェスティバル	10/16～18	福島市
第9回全国ソフトバレー・スポレクフェスティバル	10/23～25	函館市
第5回全国ソフトバレー・フリーフェスティバル	10/31～11/1	秋田市
第11回全国ヴィンテージ8's交流大会	10/30～11/1	函館市

⑦公益財団法人日本スポーツ協会等との共催により、以下の大会を実施する。

1) 国民体育大会バレーボール競技

➤日程：10/4～7 開催都市：鹿児島県鹿児島市・いちき串木野市・鹿屋市

2) 日本スポーツマスターズ2020

➤日程：9/18～22 開催都市：愛媛県松山市

⑧公益財団法人全国高等学校体育連盟等との共催により、以下の大会を開催する。

1) 全国高等学校総合体育大会女子バレーボール競技

➤日程：8/20～24 開催都市：茨城県結城市・筑西市・古河市

2) 全国高等学校総合体育大会男子バレーボール競技

➤日程：8/20～24 開催都市：栃木県宇都宮市・小山市

3) 全国高等学校定時制・通信制大会

➤日程：8/12～15 開催都市：神奈川県平塚市

⑨公益財団法人日本中学校体育連盟等との共催により以下の大会を実施する。

1) 全日本中学校バレーボール選手権大会

➤ 日程：8/17～20 開催都市：静岡県静岡市

(5) V. LEAGUE 開催及び開催支援事業

V リーグ機構が主催する V. LEAGUE の開催においてバレーボールの普及・振興に寄与するとともに、大会へのジュリーと審判員の派遣により、V. LEAGUE の運営に対しての支援を行う。

(6) 加盟団体との連携強化

JVA の加盟団体連携強化を図り、運営のサポートや各種事業の支援を行う。

(7) ビーチバレーボール事業

①競技力向上事業及び競技力向上に係る日本代表選手団国際大会派遣事業

1) ビーチバレーボール男女日本代表チーム

7月開催の東京 2020 オリンピックでの目標（男子：ベスト 8・女子メダル獲得）達成のため、強化指定選手の強化と国際大会への派遣を行う。東京 2020 オリンピックを中心に、以下の試合を開催する。

□東京 2020 ビーチバレーボール代表決定戦

本大会は、第 32 回オリンピック競技大会（2020/東京）ビーチバレーボール競技の開催国枠日本代表チーム選考会として開催する。本大会で優勝した男女各 1 チームを日本代表チームとして内定する。

・開催日：2020 年 5 月 23 日（土）・24 日（日）

・会場：男子】グランフロント大阪特設会場（大阪府大阪市）

【女子】高輪ゲートウェイ駅前特設会場（東京都港区）

・参加チーム：男女各最大 6 チーム・ダブルエリミネーション方式

□コンチネンタル第 3 フェーズ大会

東京 2020 オリンピック出場権獲得のために男女各 2 チームを派遣。優勝チームにはアジア代表出場権利が与えられる。

・開催日：6 月 25 日（木）～28 日（日）第 3 フェーズ開催

・会場：中国

・参加チーム：開催国・前回優勝国・アジア 5 地区代表チーム

□第 32 回オリンピック競技大会

・7/24～8/9 東京 潮風公園

□AVC アジアツアー（4月に2回開催・今後追加可能性あり）

国内ランキングポイント上位男女 2 チーム派遣。追加大会についても都度派遣予定。

□FIVB ワールドツアー（1～8月まで 35 大会開催予定、9月以降は未発表）

開催国枠ランキングポイント確保に向けて各チームが参戦。原則、各大会 FIVB ランキングポイント上位 4 チームが出場する。

*6月15日時点で、FIVB オリンピックランキング 15 位以内入賞チームはオリンピック出場権が与えられる

2) ビーチバレーボール年代別男女日本代表チーム

将来有望選手の発掘、育成、強化を目的に、選抜した選手を十分な準備を行った上で以下の年代別国際大会に派遣する。また計画的な発掘・育成を通じた長期的な強化を目指して新たに常設した「ハイポテンシャルアスリート」に高校生、大学生を取り入れU-21・U-17を見据えたアンダーエイジカテゴリー強化を目指す。

□世界大学選手権大会（6/23～27：スペイン）

2024 オリンピックを見据えて大学有望選手の派遣を行う。

□U19 ビーチバレーボール世界選手権大会（9/1～6：タイ）

アジア選手権大会（3/12～15 タイ）にて5以内で本戦、9位以内で予選から出場。世界選手権大会の出場権を獲得して本戦での上位を狙う。

②講習会開催事業

1) ビーチバレーボール審判講習会

ビーチバレーボールの審判員・競技者を対象に、ビーチバレーボールブロック審判講習会を開催する。更に、ビーチバレーボール選手及び指導者を対象に、ルール説明会を開催する。

(2020年1月現在)

講習会名等	開催期間	開催都市
ビーチバレーボールブロック審判講習会	4～5月	茨城県、福井県
ビーチバレーボール審判員研修会	8月	神奈川県川崎市
A級審判員研修会（ビーチバレーボール）	8/16～19	大阪府岬町
ビーチバレーボール指導者研修会	5～10月	会場調整中
全国ビーチバレーボール審判講習会	未定	神奈川県

③全国大会等国内競技会開催事業

1) ジャパンビーチバレーボールツアー

2016年度より、これまでJVAが主催した「シリーズA」と日本ビーチバレーボール連盟が主催した「JBV ツアー」を統合し、「ジャパンビーチバレーボールツアー」として大会を新設した。

日本におけるビーチバレーボール競技のより一層の発展と、日本から世界に羽ばたくビーチバレーボール選手の輩出を目的として、4～10月を基本に全国各地で大会を開催する。昨年度に引き続き、メディア露出の見込める新開催地を追加する。また興行化、集客力の増大を目指して大会構造の見直しを行い、トップツアーにあたる「BVT1」については都市および観光地などでの開催を主とする。普及やアンダーエイジカテゴリー大会を中心とした「BVT2・3」との連携を強化し、ビーチバレーボール全体の普及発展に寄与することを目指す。

また競技全体の商品価値を高めるべく、引き続きジャパンツアー（BVT1）を主としたプロモーション拡充やブランディング強化を図る。

<2020 年度開催日並びに開催都市>

(2020 年 1 月現在)

ジャパンビーチバレーボールツアー	開催期間	開催都市
第 1 戦 立川立飛大会	5 月予定	東京都立川市
第 2 戦 名古屋大会	6 月予定	愛知県名古屋市
第 3 戦 札幌大会	7/11～12	北海道札幌市
第 4 戦 松山大会	8/22～23	愛媛県松山市
第 5 戦 沖縄大会	9/5～6	沖縄県豊見城市
第 6 戦 新宿大会	9 月予定	東京都新宿区

【ジャパンビーチバレーボールツアーファイナル】

JVA 主催大会や海外で活躍するトップ選手が一堂に会して競い合い、最大の目的であるビーチバレーボール競技の確立と、世界レベルで活躍する日本選手の輩出をより一層活性化させる。

(2020 年 1 月現在)

ジャパンビーチバレーボールツアーファイナル	開催期間	開催都市
グランフロント大阪大会	10/3～4	大阪府大阪市

2) 国民体育大会ビーチバレーボール競技 (正式競技)

大会名等	開催期間	開催都市
第 75 回国民体育大会	9/12～15	鹿児島県曾於郡大崎町

3) 日本選手権

各世代の日本一を決める日本選手権大会として、本年は以下の日程で実施する。

(2020 年 1 月現在)

大会名等	開催期間	開催都市
第 32 回全日本ビーチバレー大学男女選手権大会	7/16～17	兵庫県明石市
ビーチバレージャパン女子ジュニア選手権大会	8/13～16	愛媛県伊予市
第 19 回全日本ビーチバレージュニア男子選手権大会	8/10～13	大阪府阪南市
第 34 回ビーチバレージャパン	8/13～15	神奈川県藤沢市
第 31 回全日本ビーチバレー女子選手権大会	8/15～17	大阪府泉南郡岬町
第 11 回全国中学生ビーチバレー大会	8/16～17	神奈川県藤沢市

(8) マーケティング事業

JVA の事業を安定的に運営すべく、バレーボールの社会的な価値および JVA が所有する各種プロパティの価値を向上するための適切なプロモーション活動を行い、JVA の事業に賛同いただいている協賛社とのパートナーシップ強化および新規協賛社の獲得に向け、積極的に活動を行う。

(9) バレーボール用品・用具の公認・推薦事業

競技の公正、安全ほか競技者が安心して楽しくプレーできるように、ボール、ネットほか用品・用具の公認・推薦の認定を行うとともに、競技者及び体育施設等へ、より良い用品・用具が提供されるよう、販売・製造事業者への働きかけを行っていく。

また、公認審判員やソフトバレーリーダーなどに対しては、資格保有者としての自覚を促すため、公認物品の販売を通してその着用を推奨する。

(10) ルールブック販売事業

バレーボールの愛好者、審判員、指導者をはじめとする多くの国民に対し、最新のルール情報を提供するために、公認ルールブックであるバレーボール6人制競技規則、同9人制競技規則、ソフトバレーボール競技規則、ビーチバレーボール競技規則を出版販売する。

(11) 肖像使用・物品販売による事業の財源を獲得する事業

事業を安定的に推進するべく、以下の2事業を行う。

① 肖像使用許諾事業

JVA 登録選手の肖像権等の管理運営を行い、肖像権使用料収入を得て、一定額を肖像が使用された選手等に配分する。

② バレーボール関連グッズの販売事業

バレーボールの魅力を高め、見る、する人口の拡大に貢献するような商品の開発、販売を行う。

(12) 東京 2020 大会準備室

東京 2020 大会におけるバレーボール競技、ビーチバレーボール競技及びシットイングバレーボール競技の成功と盛り上げに向け準備室は、「アスリートファースト」及び「レガシー」を念頭にスポーツ庁や東京都、そして公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会及びFIVBとの連携と協同作業を行い、競技施設、競技運営、テストイベント、事前キャンプにかかわる諸準備を推進する。

- ① 4月に有明アリーナにてバレーボール競技のテストイベントを開催し、東京 2020 大会に備える。
- ② 大会競技役員の研修等を実施し、競技スタッフ及びボランティアのモチベーションを高め、東京 2020 大会に備える。
- ③ 東京 2020 大会の告知・プロモーションを計画し、オリンピックムーブメント醸成に力を注ぐ。
- ④ パラリンピック競技(シットイングバレーボール競技)については、一般社団法人日本パラバレーボール協会と連携を取りながら協力をしていく。

(13) その他の重点項目

- ① スポーツ団体ガバナンスコードの遵守、自己説明および公表
JVA は公共性の高いスポーツ団体として、ガバナンスを確保し、適切な組織運営を行う上での原則・規範を継続的に点検するとともに改善を行なっていく。また、スポーツ団体ガバナンスコードの遵守状況を具体的かつ合理的に自己説明および公表を行う。
特に、体罰・暴力・ハラスメントの撲滅については、対策委員会を立ち上げて加盟団体、指導普及委員会との連携のもとアクションプランの確実な実行を目指す。
- ② JVA ホームページに NF ならではの競技データを盛り込み、リファレンスとしての機能を充実させる。プレスリリースや戦評などの質を上げることにより、力のある媒体にバレーボールの魅力をアピールする広報戦略により、バレーボールの情報を広く発信させる。
- ③ JVA の事業戦略に適合した IT 環境の整備と強化を図る。また、MRS (JVA メンバー制度登録システム) については、バレーボールを愛するすべての方々に参加いただける、バレーボールファミリー会員制度 (仮称) を構築し、2021 年度に向けてリニューアルを検討する。
- ④ JVA と Vリーグ機構との大会共催において、連携を図りながら相互の支援を積極的に行う。また、バレーボールコンテンツにおける大会等のマーケティング、プロモーションにおいては、それぞれの大会を通して共同で実施する。
- ⑤ 競技の高潔性を保ちアンチ・ドーピングを遵守する。
公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構 (JADA) がドーピング検査の実施や教育・啓発活動を行ってきたが、2019 年度より各 NF に業務が一部移管されたことにより、従来にも増して、アンチ・ドーピング委員会との連携を強化して事業を推進する。
日本代表選手 (シニア・ユニバ・ジュニア・ユースを含む) やトップリーグの選手・チームスタッフに対して講習会を実施し、バレーボール界における更なるドーピング知識の浸透を図る。また、JADA から提供される e-ラーニング等のデジタルコンテンツをトライアルしながら時代に沿った教育活動を実施する。
また、大会参加選手へのガイドブック (「Play True Book」) の配布は継続し、各 JVA 主催大会内でブース展開を実施し、競技者のみならず来場者等第三者へのアウトリーチプログラムを推進し、幅広い年齢層・カテゴリーへのアプローチをしていく。

以上